

新宮山彦ぐるーぷ第2181回

深仙宿巡回整備

◇実施日 5月24日(火)

晴のち曇

◇参加者 梶野照雄

1名

深仙宿に残っている池郷林道通行止めの看板撤去と、深仙宿周辺確認のために出向いた。

平日の火曜日だが登山口の駐車車両は相変わらず多い。



平日でも車は多い

ハシゴを確認

昆虫を採る大学院生

今日は運ぶ物がないので荷物は軽い。不動木屋登山道分岐の手前で捕虫網を持った二人連れがいた。何を採っているのか気になって話しかけてみた。大学院で昆虫の研究をしていて、大峯周辺にしか生息していない昆虫を探しているという。ちよつとだけ話を聞くつも

りだったが、30分も話し込んでしまった。

登りだす時間が遅かったのと、途中話し込んだために千丈平到着は午後1時。手早く昼食を摂って深仙宿へ下る。登山道脇のバイケイソウを鎌で切りながら進んだ。



千丈平で昼食

香精水の鍋置台破損

瀧本グループと

深仙宿の灌頂堂横まで来ると、左上から聞き覚えのある声が聞こえてきた。瀧本さんだった。3人で釈迦ヶ岳に登り深仙宿へ降りてきたようだ。まず香精水の確認に向かう。

昨年の11月に取り付けた鍋置台は落石で大きく破損、峰の会が持ってきたプラスチックの蓋もヒビが入っていた。軽くて加工が楽なアルミニウムで製作したが、やはり落石には弱く、全体の形はかろうじて保っているが、接続部分は破断している箇所もあった。

改良版は木材で製作することを考えている。

お堂前で瀧本さん等と写真を撮って別れ、避難小屋東側の大木に取り付けられた“池郷林道が崩土で通行不能”の看板を取り外す。

小屋に入り照明の状態を点検する。スイッチを入れてもLEDは点灯せず。テスター等の器具は持ってこなかった為、原因が良く判らない。次回、新しいバッテリーとコントローラーを持って修理する予定だ。とりあえず「故障しています」と張り紙をしておいた。



池郷林道通行止めの看板を外す

故障を表示

時間はすでに午後2時半だ、太古の辻の通行止め看板も外しに行くつもりだったが、今からだと暗くなってしまふ。たまたま前鬼へ降りるといふ登山者がいたので看板を外すようお願いして深仙宿を離れた。後日判ったが、太古の辻の看板は熊野修験の杉山さんが外してくださったそうだ。

登りでは気付かなかったがシロヤシオやシヤクナゲの花がまだ残っていた。

奥吉野発電所を過ぎた林道の入り口に新しくチェーン取り付ける鉄柱が設置されていた。2年前までは冬季通行止めにバリケードを置いていただけだったが、昨年か鍵付きのチェーンが張られるよ

うになり、今年からはより一層頑丈な通行止め措置になるようだ。

(記；梶野)



まだ花が残っていた



冬季通行止め用の鉄杭



行動タイム

10:12 太尾登山口↓11:35 不動木屋登山道分岐↓13:00 千丈平 13:40 深仙宿 14:30↓15:19 千丈平↓16:32 不動木屋登山道分岐↓17:25 太尾登山口